

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No247号 2013.01.25
 発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
 連絡先:航空労組連絡会事務局
 〒144-0043 大田区羽田5-11-4
 フェニックスビル内
 TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

飛行機の安全・安心には不当解雇撤回！

2013年1月19日=裁判提訴2周年 有楽町イトシア前宣伝行動と銀座パレード

1月14日に降った雪がまだ植え込みに残る有楽町で、提訴2周年宣伝行動が110名の参加を得て、おこなわれました。土曜日の午後、ショッピングを楽しむ家族連れなどで賑わう中、訴えに耳を傾け署名に応じる方が普段の街宣より多くみられました。

不当解雇撤回は国民の命を守る闘い

支援共闘会議 津恵事務局長



必要なない解雇をしたばかりに、職場は深刻な人員不足の状況に陥っています。B787型機のトラブルは、不当解雇と無縁ではない。解雇撤回まで支援共闘は全力をあげて闘います。

利益優先は安全をないがしろにする

全労連 岩橋常任幹事



私の出身母体は京都総評ですが、京都出身として恥ずかしい。稻盛氏の責任は重大です。利益を最優先させるということは安全をないがしろにすることです。

労働者に責任のない不当な解雇

大田区労協 星野議長

過去の経営の失敗をすべて現場労働者に押し付ける不当さは許せない。管財人は1兆円の内部留保を作るまで、安全について語るなと言っている。そんな体質がB787のトラブルにつながっているのではないかでしょうか。



安全運航に知識・経験は必要

東京南部法律事務所 竹村弁護士



法科大学生時代に、監視ファイル事件を知った。今南部法律事務所の一員としてこの事件に携わっている。パイロットや客室乗務員は知識、経験が重要なのに、経済的合理性を優先させることを認めるのは地裁判決のおかしい部分だと思う。

ベテラン乗務員があつてこそ安全が守られる

客乗原告 宮戸・乗員原告 山口団長



多くの皆さんに私たちの裁判を知つていただきたくて、宣伝しています。

乗務員は知識と経験が必要なのは、ハドソン川の奇跡でも証明されています。



長年積み重ねた技術を持ったベテラン労働者あつてこそ、安全は守られます。

宣伝と並行し署名活動も展開



JALは潰れたから仕方ないんじゃないですか?」という男性にパンフレットを渡し、お話をしたら、「署名させてください」と積極的に署名してくださいました。



150名参加で、銀座パレード！

銀座はお天気のよい土曜日の午後で、人出も多く、注目度抜群の行進でした。銀座プランタン前から数寄屋橋交差点の周辺をのぼり旗を掲げて歩き、普段の銀座パレードより大勢の行列だったので、人目をひきました。B787の問題を解決しろというシュプレヒコールに、沿道の方は耳を傾けてくれました。

参加した支援の方々から、「効果的な宣伝だった」というコメントをいただきました。